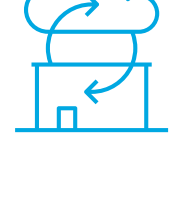


Cisco Secure Accessでユーザーとリソースを保護してハイブリッドワーカーをサポート

場所を問わない働き方や迅速なクラウド導入には多くのメリットがあります。しかし残念ながら、それによって攻撃対象領域も拡大し、セキュリティギャップが生まれ、ユーザー体験に悪影響が及びます。

働き方の新しいパラダイム

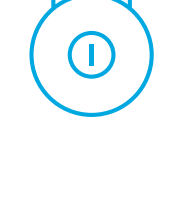


ハイブリッドワークの定着

78%

オフィスやリモートなどのさまざまな場所で働く従業員を抱えている組織の割合

出典：『2023 Security Service Edge (SSE) Adoption Report』 (Cybersecurity Insiders, Axis)



クラウドの導入の加速

50%

ワークロードをパブリッククラウドで実行している組織の割合

出典：『2022 Flexera State of the Cloud Report』



リモートユーザーのセキュリティ確保に関する懸念の増大

47%

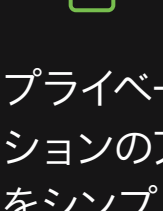
オフサイトのワーカーを最重要課題に挙げている組織の割合

出典：『2022 Security Visibility Report』 (Cybersecurity Insiders)

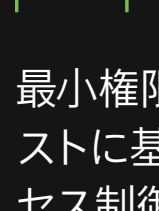
変化への適応を迫られる組織とセキュリティチーム



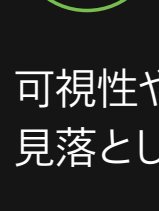
安全で途切れないアクセスを確保するために IT リーダーが行うべきこと



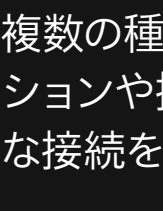
プライベート アプリケーションのアクセスプロセスをシンプル化する



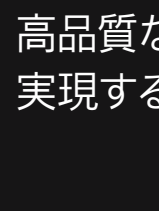
最小権限の原則とコンテキストに基づく継続的なアクセス制御を実施する



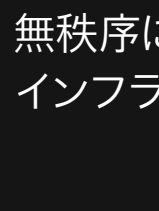
可視性やセキュリティの見落としを防ぐ



複数の種類のアプリケーションや接続先にセキュアな接続を提供する



高品質なユーザー体験を実現する



無秩序に増加したツールやインフラの複雑さを低減する

サイバーセキュリティに対する統合型アプローチ

Security Service Edge (SSE) は、IT チームとエンドユーザーの双方の複雑性を低減しながら全体的なセキュリティ態勢を向上させることで、組織が新たな状況に適応できるように支援するアプローチです。SSE は、セキュア Web ゲートウェイ、クラウド アクセス セキュリティ プロローカ、ゼロトラスト ネットワーク アクセスといった複数のセキュリティ機能を一元化してクラウドから提供することで、ユーザーとリソースを保護し、展開をシンプル化します。これにより、Web サービス、クラウドサービス、プライベート アプリケーションに直接、安全かつシームレスに接続できます。Cisco Secure Access ソリューションには、上記以外にも多数の要素が含まれており、より高い保護レベルとユーザー満足度を実現します。

統合型のクラウドベースセキュリティを導入している組織のデータ



65%

2年以内に SSE を採用する予定の組織の割合

出典：『2023 Security Service Edge (SSE) Adoption Report』 (Cybersecurity Insiders, Axis)



80%

2025年までに SASE/SSE を利用して Web サービス、クラウドサービス、プライベートアクセスを一元化する予定の組織の割合

出典：Gartner 社による 2022 年 SASE マーケットガイド



39%

ゼロトラスト戦略の実現に向けて最も重要なテクノロジーは SSE プラットフォームだと考えている組織の割合

出典：『2023 Security Service Edge (SSE) Adoption Report』 (Cybersecurity Insiders, Axis)

Cisco Secure Access のメリット



ユーザーが自身のアクティビティを保護する際に必要な手動作業を最小限に抑え、体験をシンプル化します



カスタム製品なども含め、すべてのプライベート アプリケーションを安全に保護します



シスコの業界をリードする脅威インテリジェンスで、セキュリティの有効性を高めます

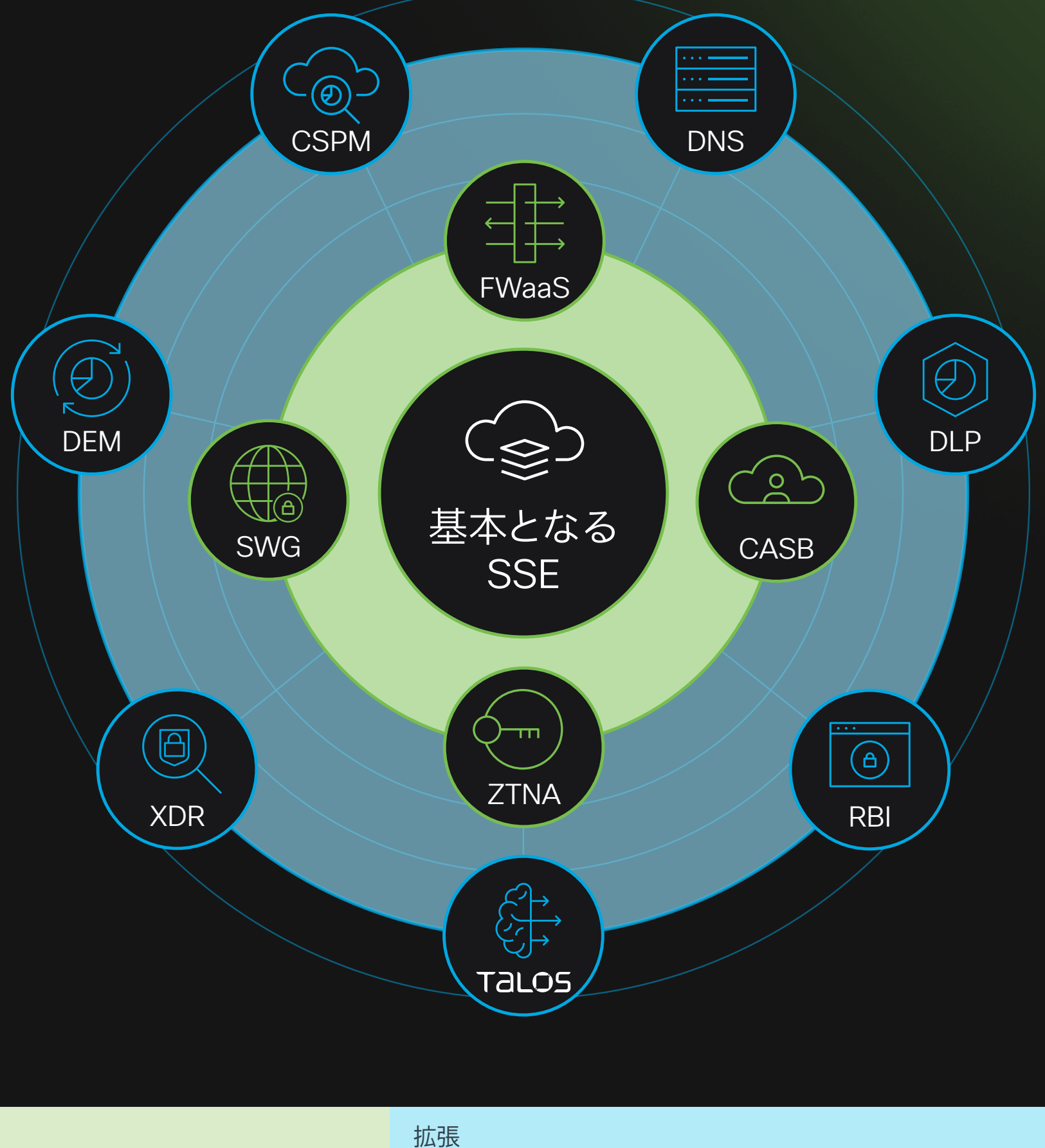


ユーザー、デバイス、ロケーション、アプリケーションに基づいたきめ細かい制御で、ゼロトラストを実現します



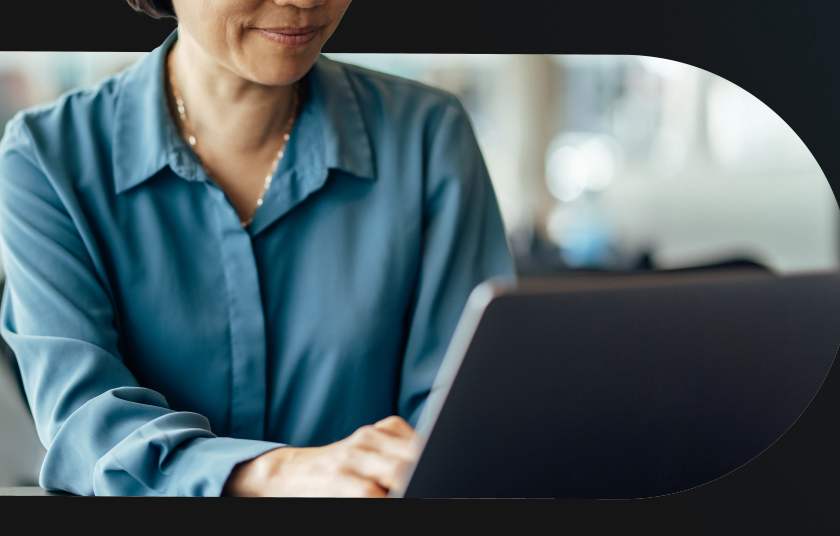
一元的な管理コンソールにより、管理を合理化し、利便性を高めます

シスコのセキュリティ統合戦略の概要



コア	拡張
FWaaS: Firewall as a Service	DNS: ドメインネームサーバー
CASB: クラウド アクセス セキュリティ プロローカ	DLP: データ損失防止
ZTNA: ゼロトラスト ネットワーク アクセス	RBI: リモートブラウザ分離
SWG: セキュア Web ゲートウェイ	Talos: 脅威インテリジェンス
	XDR: Extended Detection and Response
	DEM: デジタル体験モニタリング
	CSPM: クラウドセキュリティ態勢管理

Cisco Secure Access によりセキュリティを飛躍的に強化する仕組み



シスコの統合型セキュリティによりリスクを軽減し、価値をもたらす



強化されたセキュリティ
攻撃対象領域が大幅に縮小されるため、脅威環境全体のリスクが軽減されます。また、悪意のあるアクティビティが効率的に検出されてブロックされ、インシデントが迅速に解決されるため、事業継続性が確保されます。

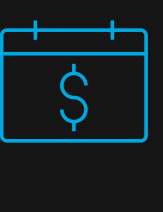
30%

セキュリティの有効性の向上率

100 万ドル

侵害に関連するコストの削減額 (3 年間)

出典：Cisco Umbrella SIG/SSE の Total Economic Impact (TEI) 調査 (2022 年 Forrester 社)



コストと価値に関するメリット
NetOps チームや SecOps チームは、単一のクラウドプラットフォームが実現する統合型セキュリティのメリットを享受できます。このプラットフォームにより、従業員がどこで仕事をしていても、簡単に安全な体験を提供できます。

231%

3 年間の ROI

200 万ドル

純便益 (3 年間の NPV)

12 カ月未満 投資回収期間

出典：Cisco Umbrella SIG/SSE の Total Economic Impact (TEI) 調査 (2022 年 Forrester 社)

SSE ソリューションや完全一体型の SASE ソリューションをお求めであれば、シスコにご相談ください。セキュリティを実現するお客様の取り組みをお手伝いします。

詳細を確認

Cisco Secure Access : 統合型のクラウドネイティブなセキュリティサービス

Cisco+ Secure Connect : すぐに使える一体型クラウドマネージド SASE ソリューション